

部屋に入って撮影されている小型カメラ

susan12

薄暗くても鮮明に撮影できる小型カメラ

あなたは**隠しカメラ**を自宅に設置するにあたり、せっかく付けるのだからしっかりした、いいやつを付けたいと思うタイプですか？防犯カメラとして隠しカメラを使えば、カメラ自体がそもそも結構安いですし、配線に気を遣う必要もありません。レコーダを用意する必要もありません。映像はパソコンがあれば確認できます。実際に、隠しカメラとして終業後のオフィスで不審者を監視してみました。動体検知をオンにすると、デスクをあさる不審者をキャッチ。薄暗くても鮮明に撮影できます。

犯人にしてみたら、部屋に入って撮影されていることに気づいたら何とかしないと**思うはず**です。そこで逃げてくれればいいのですが、**小型カメラ**を壊したり、カメラごと盗んだりする可能性もあるのです。防犯カメラにつきものの電源線、通信線がありません。つまり配線をする必要がありません。普通は電源が欠かせないので、コンセントの近くにしか付けられない問題がありました。

それに個人情報がかまっていますので、万が一レコーダーやカメラごと盗まれた時のことを考えると、毎日マメにチェックしてデータは消しておかないと個人情報の流出につながります。それを考えたらあまり大容量のレコーダはいらないのではないかと思います。実際に、隠しカメラとして終業後のオフィスで不審者を監視してみました。動体検知をオンにすると、デスクをあさる不審者をキャッチ。薄暗くても鮮明に撮影できます。



もう一つの利点としては、配線が全くいらぬという点です。配線の処理が全く必要ありませんし、電源の近くじゃないと設置できないとか、線を延長しないといけぬとかそういう心配が一切なく、天井があるところなら風呂場とか以外はどこにでも付けられます。

実際に盗難被害に遭わぬと**置時計型カメラ**を行う行動に移せぬ人が多いのですが、車上荒らしは車内にあるバッグやカーナビ、カーオーディオなどの貴重品だけでなく、高価なタイヤやアルミホイール、さらには車両盗難にも及びます。あとになって後悔しぬ為にも日頃から車上荒らし・車両盗難対策を行うことは被害を未然に防ぐためにも絶対必要です。

防げてこそ、記録としての映像が証拠になります。車ごと盗まれた後では撮影の記録も盗まれてしまっていますからどうにもならないことになります。隠しカメラという、盗撮などの不正な用途に使うもの、というイメージがありますが、そのような用途ではなく、犯罪を防ぐためや、経営の効率化のために設置するケースも増えています。